

1 基本項目	事務事業名	増補改良事業				担当部署	課等名	上下水道課
	予算事業名	増補改良事業					係名	水道工務係
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1014
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水道企業会計（資本的支出）
	総合計画	目標名	目標3. 輝くまち				款	資本的支出
	根拠法令	政策名	政策13. 快適で住みやすいまちづくり				項	建設改良費
		施策名	施策33. 水道水の安定的な供給				目	増補改良事業
		基本事業名	基本事業33-1. 水道施設の整備				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
		アウツソーシング導入状況					総合戦略との関連	関連なし
							集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	昭和28年度に開始された水道事業も70年が経過し水道管の漏水が多発しているため、老朽管の耐震管への更新を計画的に実施する。
	対象	老朽化した水道管
	手段（活動指標）	漏水事故が多発する鑄鉄管・塩化ビニル管などの老朽管の布設替（更新）を実施。
	意図（成果指標）	①漏水事故等を未然に防ぐことができる。 ②耐震化され、地震による断水等の被害を最小限にとどめる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 当年度の老朽管布設替延長	m	1,296	794	1,162	1,372	118.1%	990
	②							
成果	① 老朽管の更新率	%	16.3	18.5	18.9	19.0	100.5%	25.0
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	296,869,100	219,203,600	214,623,200	214,623,200	-2.1%	291,750,000
	①国庫支出金	円	60,333,000		0	0		
	②県支出金	円		26,700,000	20,000,000	20,000,000	-25.1%	28,000,000
	③地方債	円	127,900,000	122,012,000	151,600,000	128,924,000	5.7%	209,200,000
	④その他（使用料、雑入等）	円	108,636,100	13,232,796	3,501,000	2,858,858	-78.4%	5,250,000
人件費	⑤一般財源	円		57,258,804	39,522,200	62,840,342	9.7%	49,300,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	8	8	8	8	0.0%	8
	②年間所要時間	時間	3,320	3,320	3,250	3,250	-2.1%	3,320
総費用 (A+B)	円	309,737,420	232,071,920	227,220,200	227,220,200	-2.1%	304,618,320	

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	袋外地内において、生活基盤施設耐震化等交付金を活用し、送水管の更新を行った。 施工延長 送水管 D I P φ500 L=158.6m D I P φ400 L=10.6m

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	1 なし		
結果（課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③ 上位施策への貢献度	1 高い		
				① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等 ・国の老朽管更新に係る補助制度を継続して活用していく。 ・「魚津市水道事業新水道ビジョン」に基づき計画的に事業を実施する。	③ 負担割合の適正化	1 適正である		
				2 次評価	不要		

1 基本項目	事務事業名	水道管理運営事業（ボトルドウォーター事業分除く。）				担当部署	課等名	上下水道課
	予算事業名	収益的収支					係名	水道業務係
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1013
	事業期間	開始年度	昭和29年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水道事業会計（収益的支出）
	目標名	目標3. 輝くまち					款	収益的支出（水道事業費用）
	政策名	政策13. 快適で住みやすいまちづくり					項	款に含まれる項全て
	施策名	施策33. 水道水の安定的な供給					目	項に含まれる目全て。但し、ボトルドウォーター事業分除く。
	基本事業名	基本事業33-2. 安定した水道事業経営					総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	上水道事業の運営（維持・管理）	
	対象	①上水道利用者 ②上水道施設	
	手段 (活動指標)	①料金の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
	意図 (成果指標)	①清浄な水を安定的に供給する。 ②施設が適切に維持管理される。	

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 調定件数	件	91,183	91,459	91,500	92,093	100.6%	92,100
	② 水質検査の実施回数	回	36	36	36	36	100.0%	36
成果	① 普及率	%	88.50	88.40	89.00	88.58	99.5%	86.00
	② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100

4 コスト情報	区分	単位	R2年度	R3年度	R4年度			R5年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	460,495,641	486,329,545	504,587,000	466,351,736	-4.1%	522,893,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	386,473,400	482,851,695	429,655,000	393,487,394	-18.5%	519,973,000
	⑤一般財源	円	74,022,241	3,477,850	74,932,000	72,864,342	1995.1%	2,920,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	9	9	9	9	0.0%	9
	②年間所要時間	時間	8,120	8,380	7,880	7,880	-6.0%	8,380
	③人件費（②×④ 3,876 円）(B)	円	31,473,120	32,480,880	30,542,880	30,542,880	-6.0%	32,480,880
総費用 (A+B)	円	491,968,761	518,810,425	535,129,880	496,894,616	-4.2%	555,373,880	

5 取組内容	令和4年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	上水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。 上水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	R3評価	R4評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
結果 (課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	不要		
				1次評価	○ 現状を維持 □ 事業の拡充 □ 事業の縮小 □ 統合等の検討 □ 終了又は廃止・休止	2次評価